

西之島の火山活動解説資料

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

< 火口周辺警報（火口周辺危険）が継続 >

本日（12 日）西之島でごく小規模な噴火が発生しました。

【防災上の警戒事項】

火口から概ね 500m の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください。

活動概況及び防災上の警戒事項

海上保安庁によれば、本日（12 日）12 時 24 分頃に西之島の火口付近から茶色の噴煙が上がっているのが確認されました（図 2）。付近海域に変色水は確認されていません。

西之島でごく小規模な噴火が発生しました。西之島で噴火が確認されたのは 2017 年 8 月 2 日以来です。

気象衛星ひまわりの観測によると、2017 年 7 月頃から、西之島付近の輝度温度は徐々に低下し、2017 年 8 月頃からは周囲とほとんど変わらない状態となっており、本日も変化は認められません（図 3）。このことから溶岩噴出を伴うような噴火は発生していないと考えられます。

火口から概ね 500m の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石に警戒してください（図 4）。

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。

この資料は、海上保安庁のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』『数値地図 25000（行政界・海岸線）』を使用しています（承認番号：平 29 情使、第 798 号）

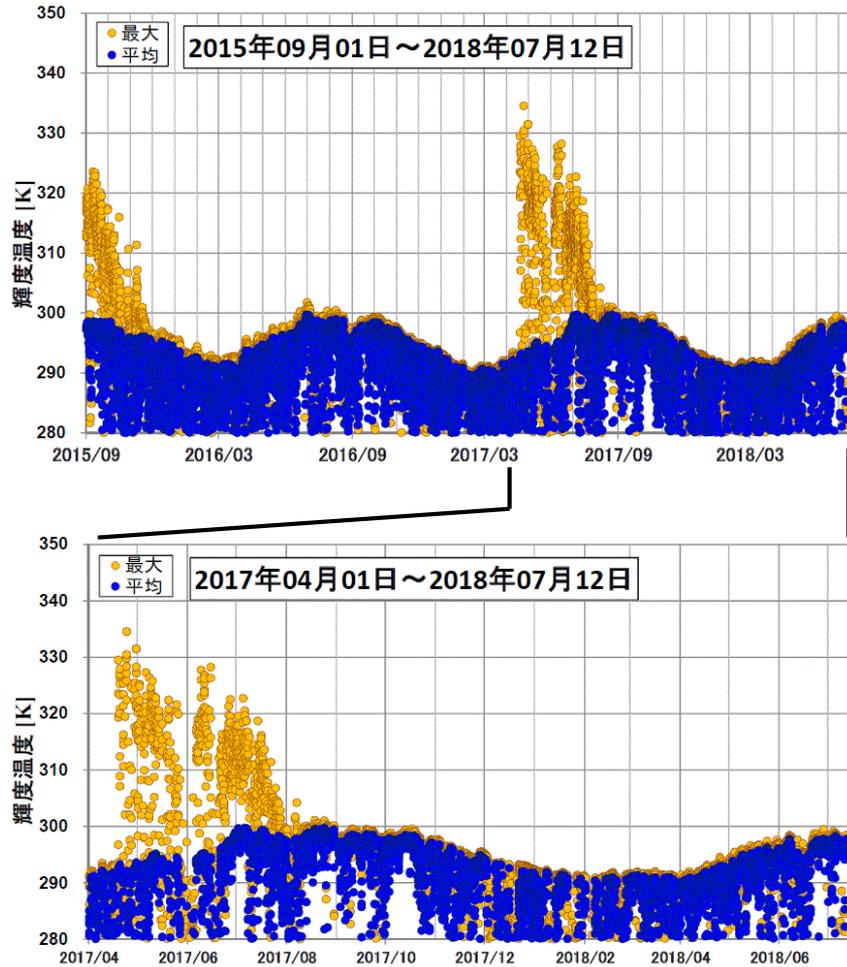


図3 西之島 ひまわり8号の観測による西之島付近の輝度温度の変化

輝度温度は中心波長 3.9 μ m 帯による観測。

西之島を含む概ね 30km 四方の領域内の輝度温度の、最大値と平均値を示しています。

日射による影響を考慮し、夜間の観測値のみ解析しています。

- ・ 気象衛星ひまわりの観測によると、輝度温度は徐々に低下し、2017 年 8 月頃からは周囲とほとんど変わらない状態となっています。



図4 西之島 警戒が必要な範囲（火口から概ね 500m の範囲）

海底地形は噴火前のもので、現状とは異なります。